

原料費調整制度に基づく2026年1月検針分のガス料金について

1. 2026年1月 検針分の料金表

- (1) ガス小売供給約款契約料金表（秋田支社地区）
各月のご使用量に応じてAからDの各料金表が適用されます。

(税込)

	料金表A	料金表B	料金表C	料金表D
月間使用量 (m ³)	0～7	7～24	24～490	490～
基本料金 (円/月)	1, 210. 00	1397. 00	1, 992. 10	5, 570. 40
調整単位料金 (円/m ³)	240. 17	213. 45	188. 62	181. 32
【参考】前月調整単位料金 (円/m ³)	(241. 18)	(214. 46)	(189. 63)	(182. 33)

(2) 標準家庭における影響

(税込)

1か月のご使用量 [※]	2026年1月ガス料金	2025年12月ガス料金	差 額
19m ³ (46.04655MJ)	5, 452円	5, 471円	▲ 19円

※ 1 か月のご使用量については、2016年度から2020年度のご家庭 1 件当たり使用量の平均値です。

■標準家庭料金の計算方法

$$\boxed{5, 452} = \boxed{1397. 00} + \boxed{213. 45} \times \boxed{19}$$

2026年1月ガス料金(円：税込) 基本料金 (円) 単位料金 (円/m³) ご使用量 (m³)

$$\boxed{213. 45} = \boxed{218. 72} + \boxed{▲ 5. 27}$$

単位料金 (円/m³) 基準単位料金 (円/m³) 単位料金調整額(円/m³)

2. 原料価格の変動

(1) 原料価格の実績

(円/ t)

算定期間	2025年8月から2025年10月	
平均原料価格	LPG	77, 640
	LNG	82, 880
		77, 680 (a)
基準平均原料価格	83, 460 (b)	
差額 (a-b)	▲ 5, 780	

※LPG価格、LNG価格はともに貿易統計値

(2) 単位料金調整額の算定方法

■平均原料価格の算定

$$\text{平均LPG価格 (貿易統計値)} = \boxed{77, 640 \text{円/t}} \times 0. 0394$$

$$\text{平均LNG価格 (貿易統計値)} = \boxed{82, 880 \text{円/t}} \times 0. 9003$$

$$\text{平均原料価格} = \boxed{77, 680 \text{円/t}} \quad (10 \text{円未満四捨五入})$$

■原料価格変動額の算定

$$\boxed{77, 680 \text{円/t}} - \boxed{83, 460 \text{円/t}} = \boxed{▲ 5, 700 \text{円/ t}} \quad (100 \text{円未満切り捨て})$$

■単位料金調整額 (m³あたり調整額) の算定

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{▲ 5, 700 \text{円/ t}} \div 100 \text{円/ t} \times 0. 084 \text{円} \times 1. 10$$

$$= \boxed{▲ 5. 27 \text{円}} \quad (\text{小数点第3位以下切り上げ})$$

【参考】原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を毎月調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(83, 460円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動 100円/tにつき、ガス1m³当たり0. 084円(税抜)の単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動は貿易統計の実績によります。